

# 平成29年度二宮町防災会議次第

日時：平成29年7月12日（水）  
9時30分から

場所：二宮町町民センター2階  
2Aクラブ室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委嘱状交付（委員自己紹介）

4 議 題

（1） 平成29年度二宮町総合防災訓練について

（2） その他

5 閉 会

## 二宮町防災会議委員名簿

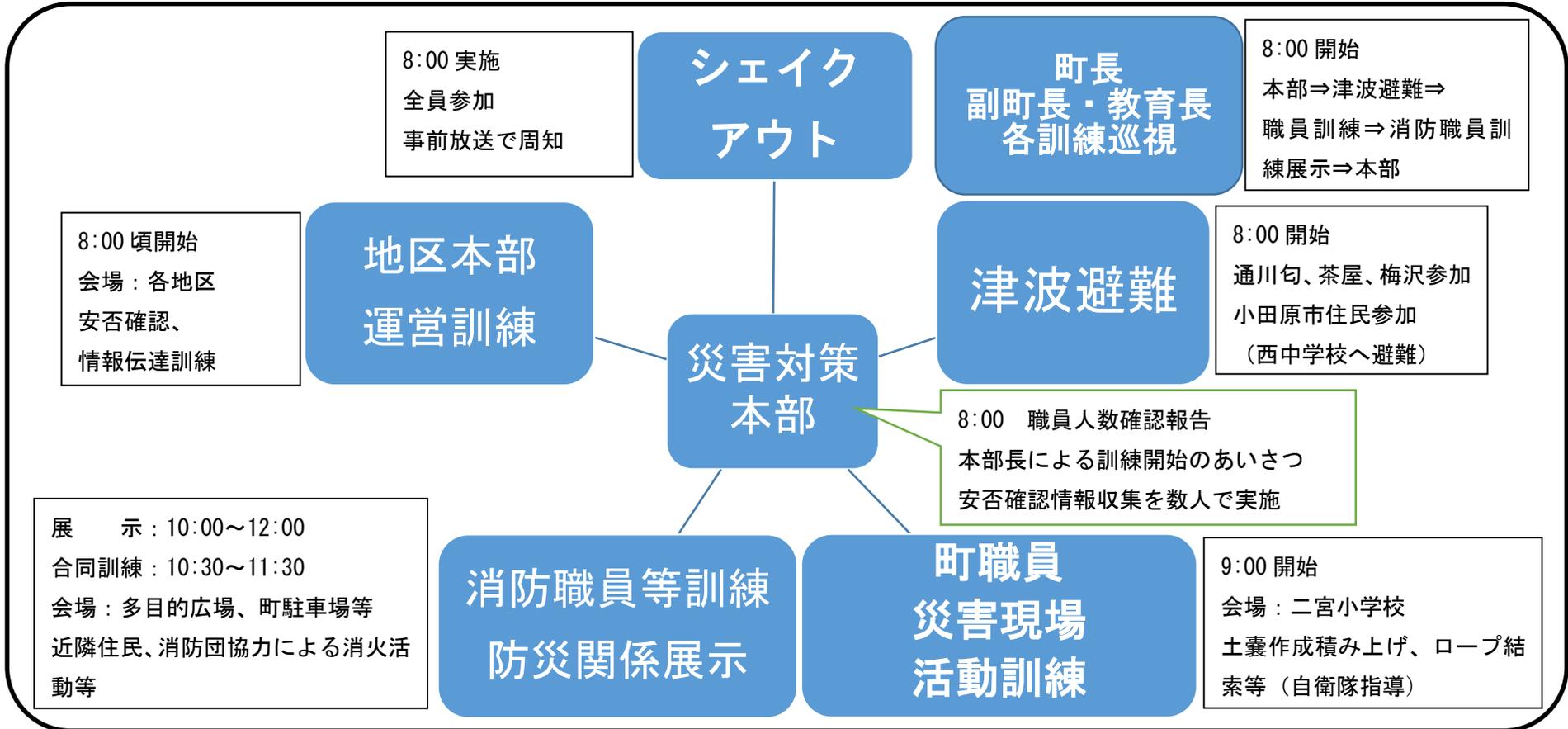
H29.7.1

	職名等	委員氏名	代理出席者	
			職名等	出席者名
1	二宮町長	村田 邦子		
2	関東農政局 神奈川支局 総括農政推進官	下村 努		
3	海上保安庁 第三管区海上保安本部 湘南海上保安署長	和田 聡明	次長	石黒 進一
4	湘南地域県政総合センター所長	太田 良勝		
5	平塚土木事務所長	三枝 薫	副所長	渡邊 智幸
6	平塚保健福祉事務所長	深澤 博史		
7	企業庁平塚水道営業所長	宮林 正彦		
8	大磯警察署長	磯野 正彦	警備課長	浅見 敏幸
9	二宮町副町長	長尾 秀美		
10	二宮町政策総務部長	田嶋 康宏		
11	二宮町教育長	府川 陽一		
12	二宮町消防長	林 栄一		
13	二宮町消防団長	池田 昌隆		
14	東日本電信電話(株) 神奈川西支店長	笛田 美佐子	総括担当課長	長橋 浩之
15	東日本旅客鉄道(株)国府津駅長	成田 努		
16	神奈川中央交通西(株) 平塚営業所長	鈴木 了太		
17	東京電力パワーグリッド株式会社 平塚支社長	杉本 順	地域渉外担当	加藤 哲也
18	中日本高速道路(株) 東京支社 小田原保全・サービスセンター所長	吉田 陽子		
19	日本郵便(株) 二宮郵便局長	久保田 浩巳		
20	二宮町地区長連絡協議会長	平田 光枝		
21	小田原ガス(株)取締役社長	原 正樹	執行役員供給部長	飯田 勉
22	中郡医師会二宮班長	加藤 博人		
23	陸上自衛隊第4施設群長	吉春 隆史	群本部土木幹部	山野 知春
			第364施設群中隊小隊長	松田 卓也
24	二宮建設協力会長	高宮 松蔵		

# 平成 29 年度 総合防災訓練

**業務継続  
計画  
BCP**

7月26日(水) 13:30~17:00  
町民センター 2A クラブ 室  
講演・ワークショップ



**災害対策本部  
運営訓練**  
【2月実施予定】

**自主防災訓練**  
【随時実施】

**避難所運営  
調整会議**  
【6月~7月調整】

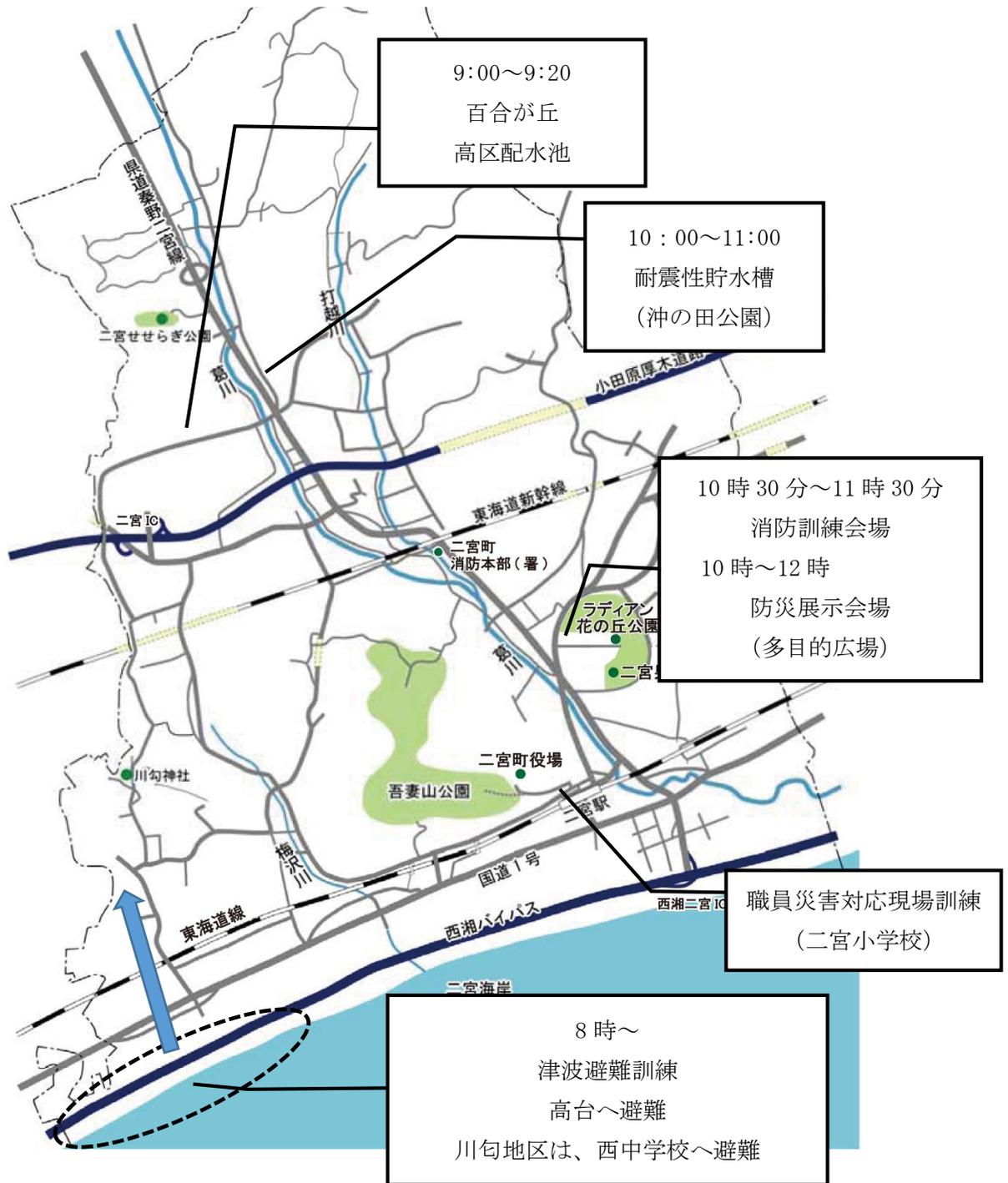
**防災講演会**  
【2月頃予定】

平成29年度 二宮町総合防災訓練 タイムスケジュール

時系列	7:57	8:00	8:02	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	11:55	12:00
災害状況等		震度6弱	大津波警報							大津波警報解除										
機関名	緊急地震速報(防災行政無線放送)																			
二宮町	シエイクアウト																			
広域避難所	緊急速報メール発信(大津波警報発令)																			
ラディアン	安否確認訓練																			
自主防災組織	参集 災害時現場活動訓練 防災行政無線情報受伝達訓練 情報報告確認 安否確認結果報告 参集(配備職員) 職員配備(資機材設置) 情報収集報告 参集 (資機材設置) 飲料水給水訓練(9:00~11:00) 情報収集報告 防災部長安否確認訓練 安否確認 防災行政無線による情報伝達訓練(14地区)(9:00~10:30) 情報収集(被害) 安否確認報告被害状況報告 災害時地区本部設置 災害時地区本部運営訓練 地区独自訓練 訓練終了 地区消防合同訓練																			
町民	避難開始																			
消防本部・署	飲料水給水訓練(9:00~11:00)																			
消防団	安否確認等																			
大磯警察署	展示ブース見学(一部)																			
平塚水道営業所	津波対策訓練(梅沢・茶屋・通川匂)(小田原市住民)																			
西湖管工事組合	消防対策本部(消防本部・消防署・消防団)地区・消防署・消防団合同訓練																			
中郡医師会二宮班	主要道路交差点優先確保(津波訓練会場付近)																			
二宮町議会	緊急輸送路等確保訓練(消防合同訓練・法務局)																			
自衛隊	給水訓練(二宮高区配水池)																			
防災機関	給水訓練(二宮高区配水池・各給水実施場所)																			
	二宮高区配水地着 給水準備																			
	安否確認訓練																			
	地区訓練視察・参加																			
	町職員災害現場活動訓練指導																			
	通信訓練																			
	防災関係機関 展示(法務局裏 多目的広場)																			

平成 29 年度総合防災訓練

主な配置【配水池・貯水槽・主な訓練会場】



【多目的広場（法務局駐車場隣接地）】

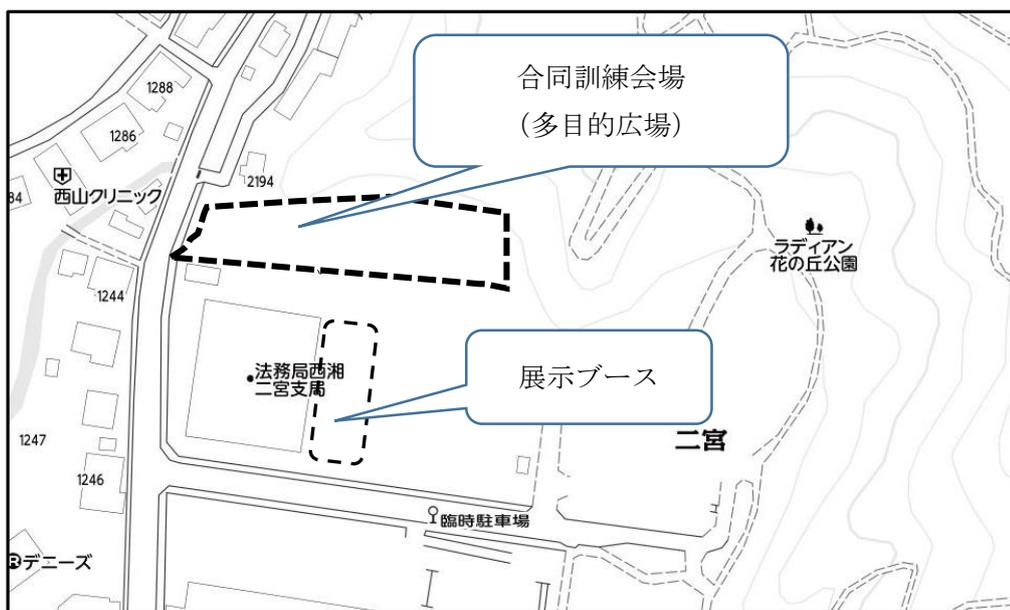
【消防訓練会場】

10時30分より、地域、消防署、消防団や関係機関による合同訓練を実施  
元町北、元町南、富士見が丘1、富士見が丘2、富士見が丘3、松根参加

【展示場所案内図】



【詳細図】



## 平成29年度二宮町総合防災訓練計画

### 1 目的

大規模地震発生時による初動体制の強化及び検証の実施。また、町と自主防災組織、防災関係者が一体となった訓練を実施することにより防災体制の確立及び防災意識の高揚を図り、併せて各地区の安否確認を中心とする訓練の実施によりさらなる共助の強化を図ることを目的とする。

2 訓練の名称 平成29年度 二宮町総合防災訓練

3 実施日時 平成29年8月27日（日） 地震発災 午前8時00分

4 訓練会場 二宮町全域  
二宮町役場・災害時地区本部・広域避難所、多目的広場など

5 訓練内容 (1) 初動対応及び情報伝達収集訓練（行政・自主防災組織・関係団体）  
(2) 災害時地区本部運営訓練（自主防災組織）  
(3) 津波対策訓練（消防署・沿岸3地区自主防災組織・小田原市住民）  
(4) 消防職員等訓練、啓発活動（消防職員、消防団、地域住民等）  
(5) 災害現場作業訓練（二宮町職員）

### 6 想定（参考資料 「神奈川県地震被害想定調査報告書」）

平成29年8月27日（日）午前8時00分、二宮町は神奈川県近海を震源とする震度6弱の強い地震に見舞われた。この地震によって建物の倒壊が発生する中、相模湾一帯に大津波警報が発令された。

#### (1) 訓練地震規模

○震度6弱

○津波発生 二宮町5m 最大津波到達時間約5分

・避難訓練は、津波ハザードマップ（平成29年3月作成）の浸水想定をもとに訓練を実施する。

#### (2) 訓練被害規模

○建物被害 全壊10棟 半壊270棟 火災件数 5件 焼失棟数 1棟

○人的被害 死者0人 負傷者110人（うち軽症者60人、中等症者50人）

**数値は、神奈川県被害想定調査報告書による想定値**

○土砂崩れ、液状化の被害なし。津波による浸水被害なし。

○電気23,390軒停電、ガス1,740戸供給停止（都市ガス）、通信回線10,070回線不通。上下水道においては、上水80人断水、下水440人機能支障。

## 7 参加機関

二宮町	二宮町地区長連絡協議会	二宮町議会
中郡医師会二宮班	二宮町教育委員会	二宮建設協力会
二宮町消防本部・消防署	二宮町消防団	陸上自衛隊第4施設群
神奈川県	神奈川県大磯警察署	神奈川県企業庁平塚水道営業所
西湘管工事業協同組合	東京電力パワーグリッド株式会社	東日本電信電話株式会社
神奈川県獣医師会		

## 8 訓練実施項目

### (1) 初動対応及び情報伝達収集訓練（行政・自主防災組織・関係団体）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
情報伝達訓練	J-アラートによる「緊急地震速報」受信により、防災行政無線により住民に対して地震発生到来内容を放送し、住民への情報伝達を行う。緊急速報メール、ツイッターの利用も考慮する。	消防署 町職員
危険回避訓練 (シェイクアウト訓練)	「緊急地震速報」放送を確認後、危険回避行動を行う。(安全確保行動)	全体
安否確認情報収集訓練	安否情報確認システムを活用して、町職員、町議会議員、中郡医師会二宮班員、地区長（自主防災組織）に対し安否確認を行い、更に災害時地区本部の立ち上げ要請を行う。	町職員 町議会議員 中郡医師会二宮班 地区長(自主防災組織)
広域避難所開設準備訓練	広域避難所開設準備及び各地区安否確認状況、被害状況等を取りまとめ、災害対策本部へ情報伝達を行う。また、災害時特設公衆電話の設置訓練を行う。	広域避難所配備職員

(2) 災害時地区本部運営訓練（自主防災組織）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
<p>危険回避訓練 （シェイクアウト訓練）</p>	<p>「緊急地震速報」放送を確認後、危険回避行動を行う。 （姿勢を低く！頭を守って！揺れが収まるまで動かない） ツイッター導入者は、受信状況の確認。火の元確認。建物の損壊状況、ガスの元栓確認。自宅のブレーカーを降ろすことにより通電火災の防止策をとる。</p>	<p>全体</p>
<p>安否確認訓練 避難行動要支援者</p>	<p>各地区は災害時地区本部を拠点に、地区で決定している方法と名簿で安否確認訓練を行う（安否確認は、確認情報の統一化を推進している）。避難行動要支援者に対する連携訓練を行う。中学生の訓練参加により地域防災力の向上を促進する。</p>	<p>自主防災組織 住民</p>
<p>情報伝達収集訓練</p>	<p>地区内における被害状況の情報収集を行う。また、安否確認結果及び被害状況を広域避難所配備職員に報告する。防災行政無線（移動系）を活用した、防災行政無線情報受伝達訓練を災害対策本部と連携し行う（一部地区除く）</p>	<p>自主防災組織</p>
<p>飲料水供給訓練</p>	<p>発災から3時間後を想定し、各地区は、不足している飲料水を町指定場所へ受け取りに行く。</p>	<p>県企業局平塚水道営業所 西湘管工事業協同組合 町職員</p>
<p>地震対応訓練</p>	<p>地区自主計画による給食（炊き出し）訓練や各地区が防災倉庫に配備する資機材の点検等の実施。</p>	<p>自主防災組織 住民</p>

(3) 津波対策訓練 (消防署・沿岸3地区自主防災組織・小田原市民)

訓練項目	訓練内容	参加機関(者)
情報伝達訓練	Jアラートによる「大津波警報」発令広報。 消防署による海面監視、避難広報を実施。 緊急速報メールやエリアメールで伝達。	消防署
避難訓練	川匂地区(通川匂)、茶屋地区、梅沢地区 住民及び海浜利用者は、津波災害指定避難 場所、もしくは高台に避難する。避難経路 確認。	川匂地区(通川匂) 茶屋地区 梅沢地区 小田原市住民 (津波浸水想定区域)
	通川匂は、小田原市住民と合同で避難訓練 を行う。	
避難誘導訓練	自ら避難できる体制を確保しつつ、津波に 対する避難者の安全確保を図る。	消防署 大磯警察署

(4) 消防職員等訓練、啓発活動(消防職員、消防団、一部地域住民等)

訓練項目	訓練内容	参加機関(者)
消防職員等訓練	会場設営し、建設協力会による道路 啓開、消防署、消防団による地震発 生を想定した訓練と地域住民と連携 した消火訓練等の実施 (法務局裏多目的広場)	消防職員 消防団 建設協力会 一部地域住民
防災啓発	会場設営(ブース設置)し、関係機関に 各種展示による PR と防災意識啓発 を実施 災害ダイヤル、ライフライン復旧、 車両展示等	防災関係機関 イベントへの住民参加

(5) 災害現場作業訓練（二宮町職員）

訓練項目	訓練内容	参加機関（者）
災害現場作業訓練	訓練会場を設定し、土嚢作成、テント設営、仮設トイレ設置訓練、ロープ結索等を実施	二宮町職員 自衛隊（指導）

9 その他

- 今年度の防災訓練においては、中学生の積極的な参加を求める事を考慮する。
- 当日訓練中止の場合は次のとおりとして、中止決定は当日6時30分とする。  
関係機関には防災安全課より電話により連絡を行い、町民には防災行政無線で周知する。（中止による放送時間、7時30分）  
当日の訓練実施に関わる問い合わせは、防災安全課（71-3311 代）又は消防署で対応。（72-0015 代）  
（ア）県内もしくは二宮町内に、気象通報における警報もしくは災害が発生する恐れがある場合。  
（イ）雨天により訓練参加者の安全確保が困難な場合。
- 津波対策訓練対象地区は、通川勾地区、茶屋地区、梅沢地区とします。
- 防災行政無線による情報受伝達訓練対象地区は、一色、緑が丘、百合が丘1丁目、百合が丘2丁目、百合が丘3丁目、中里、元町北、富士見が丘1丁目、富士見が丘2丁目、富士見が丘3丁目、上町、中町、下町、梅沢、茶屋  
計14地区の防災行政無線配備済地区とします。  
※元町南、松根、越地JR北側は、平成29年度中に配備予定  
※釜野、越地JR南側、川勾は、広域避難所設置無線のため実施しない。